

## 琵琶湖(湖心部)の水質概況速報(令和3年度(2021年度)第3四半期)

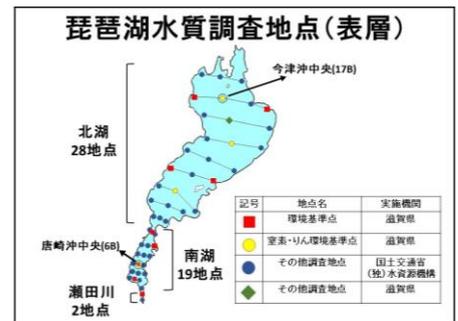
琵琶湖環境科学研究センターでは、水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき作成した公共用水域水質測定計画等に基づき、琵琶湖および瀬田川で採水、水質分析を実施しています。このたび、北湖・南湖各1地点における令和3年度第3四半期分の水質概況速報をとりまとめましたので報告します。

なお、琵琶湖・瀬田川の水質は北湖 28 地点、南湖 19 地点および瀬田川 2 地点の計 49 地点において、年間を通した解析により正式な評価を行うため、ここで公開する速報値は平均値等の代表値とは異なること、後日修正を加えられる可能性があることを御承知おきください。

### ◎調査方法について

琵琶湖・瀬田川の上記 49 地点において、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、(独)水資源機構および当センターで協力、分担し、表層 0.5mでの毎月の水質変動を調査しています。

当センターにおける琵琶湖の水深別調査は、北湖では今津港と長浜港を結ぶ線上のほぼ中央の水深約 90m地点今津沖中央(通称「17B」)ほか 1 地点、南湖では唐崎沖中央(通称「6B」)において、月 2 回実施しています。



### ◎調査結果について

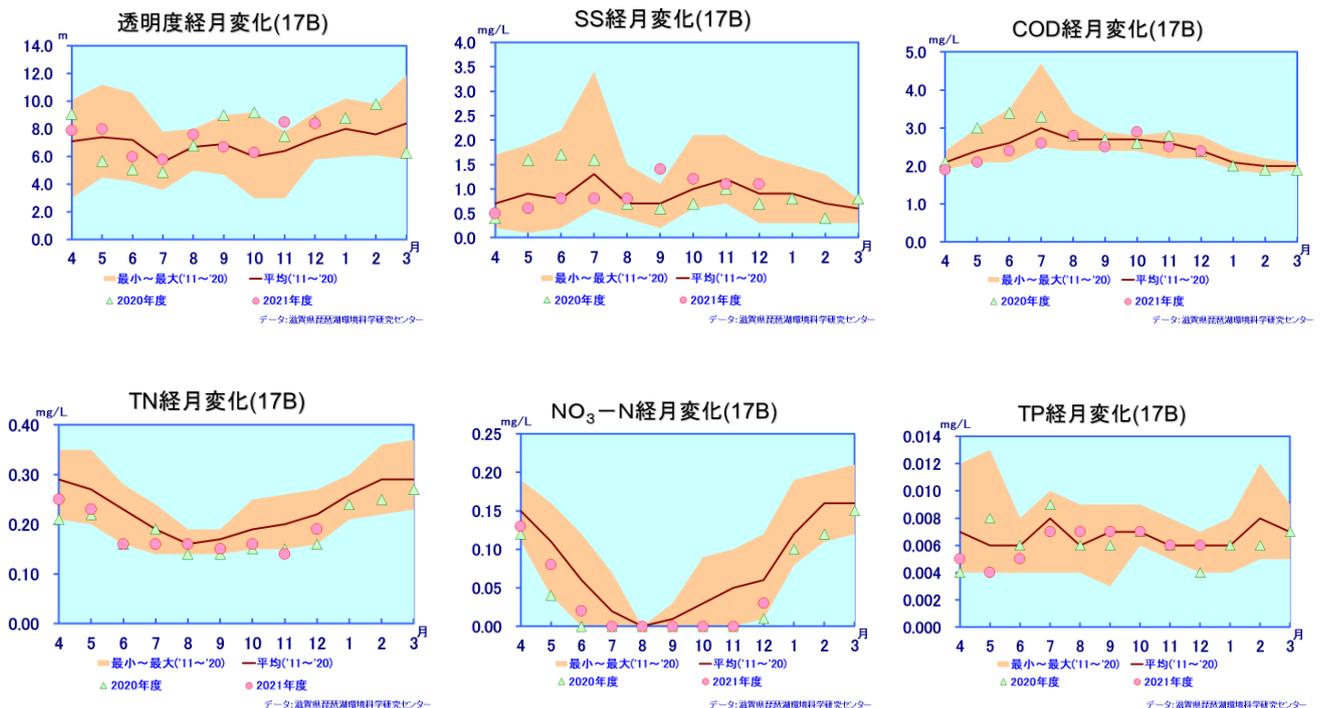
当センターで分担実施している北湖湖心部の今津沖中央(17B)、南湖湖心部の唐崎沖中央(6B)のそれぞれの経月変化からみる令和3年度第3四半期の水質概況は次のとおりです。

### ○今津沖中央(17B) 調査結果

透明度について、10月は過年度(過去10年間)平均値並みの値となり、11月は過年度最高値を、12月は過年度平均値を上回る値となりました。透明度に関連する浮遊物質(SS)は、11月は過年度平均値並み、10、12月は過年度平均値をやや上回る値となりました。

有機汚濁の指標である化学的酸素要求量(COD)については、10月は過年度最高値を上回る値(2.9 mg/L)となりましたが、11、12月は過年度平均値並みの値となりました。

富栄養化項目について、全窒素(TN)は、10~12月は過年度平均値を下回る値で推移し、11月については過年度最低値を下回る値(0.14 mg/L)となりました。全窒素の一部である硝酸態窒素(NO<sub>3</sub>-N)は、10~11月は過年度最低値で推移し、12月は過年度平均値を下回る値となりました。全りん(TP)は、10~12月は過年度平均値並みの値で推移しました。

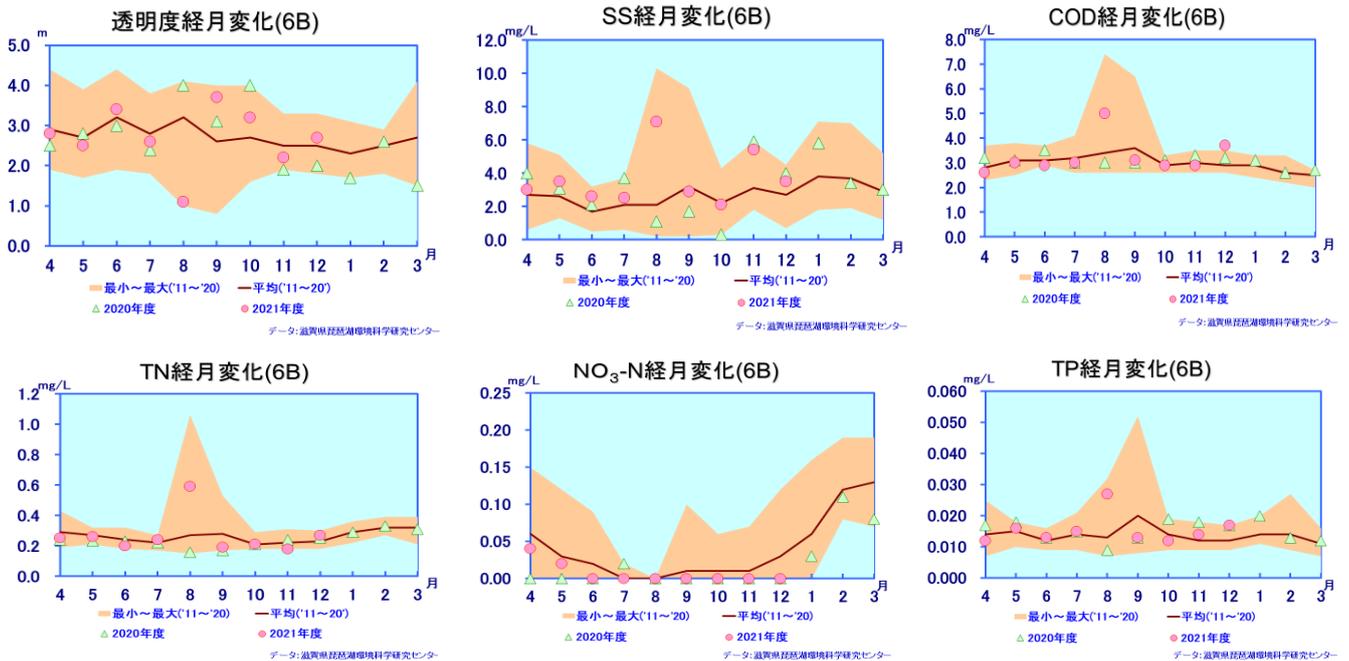


○唐崎沖中央(6B)調査結果

透明度について、10、12月は過年度平均値を上回る値となりましたが、11月は過年度平均値を下回る値となりました。透明度に関連するSSは、10月は過年度平均値並みの値で、11、12月は過年度平均値を上回る値となりました。

CODについては、10、11月は過年度平均値並みの値となりましたが、12月は過年度最高値を上回る値(3.7mg/L)となりました。

TNは、10、12月は過年度平均値並みの値となりましたが、11月は過年度最小値と同じ値(0.18 mg/L)となりました。NO<sub>3</sub>-Nは、10~12月にかけて過年度最低値で推移しました。TPは、10月は過年度平均値を下回る値となりましたが、11月は過年度平均値を上回る値となり、12月は過年度最高値と同じ値(0.017 mg/L)となりました。



《問い合わせ先》 〒520-0022 大津市柳が崎 5-34

滋賀県琵琶湖環境科学センター 環境監視部門 公共用水域係

TEL:077-526-4255 FAX:077-526-4803

E-mail: [de511400@pref.shiga.lg.jp](mailto:de511400@pref.shiga.lg.jp)